滋賀県米原市曲谷１１７
特定非営利活動法人 自然回帰
理事長 丹羽克己

（法第28条第1項関係様式例）

2 年度事業報告書

R 2 年 4 月 1 日から R 3 年 3 月 31 日まで

（特定非営利活動法人の名称）

1　事業の成果

主に山菜の収穫及び販売を行った。

2　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自然の恵みの素晴らしさを伝える事業	無農薬野菜の販売	通年	米原市小泉	10人	地元住民 12人	158

(2)　その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
	なし				

滋賀県米原市曲谷１１７
特定非営利活動法人 自然回帰
理事長 丹羽克己

年度　活動計算書

2年4月1日から　3年3月31日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 経常収益			
1．受取会費			
正会員受取会費			
賛助会員受取会費			
……			
2．受取寄附金			
受取寄附金			
施設等受入評価益			
……			
3．受取助成金等			
受取民間助成金			
……			
4．事業収益	80,276		
〇〇事業収益			
5．その他収益			
受取利息			
雑収益			
……		80,276	80,276
経常収益計			
Ⅱ 経常費用			
1．事業費			
(1) 人件費			
給料手当	130,000		
法定福利費			
退職給付費用			
福利厚生費	5,930		
……			
人件費計	135,930		
(2) その他経費			
会議費	10,200		
旅費交通費	12,062		
施設等評価費用			
減価償却費			
支払利息			
……			
その他経費計	22,262		
事業費計		158,192	158,192
2．管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
法定福利費			
退職給付費用			
福利厚生費			
……			
人件費計			
(2) その他経費			
会議費			
旅費交通費			

滋賀県米原市曲谷117
特定非営利活動法人 自然回帰
理事長 丹羽克己

減価償却費			
支払利息			
・・・・・・・・・・・・・			
その他経費計			
管理費計			158.192
経常費用計			
当期経常増減額			▲77.916
Ⅲ 経常外収益			
1.固定資産売却益			
・・・・・・・・・・・・・			
経常外収益計			
Ⅳ 経常外費用			
1.過年度損益修正損			
・・・・・・・・・・・・・			
経常外費用計			
当期正味財産増減額			▲77.916
前期繰越正味財産額			109.885
次期繰越正味財産額			31,969

※ 当該年度はその他の事業の実施を　　していません。

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れる予定である場合は、「一般正味財産の部」と「指定正味財産の部」に区分して表示することが望ましい。

滋賀県米原市曲谷１１７
特定非営利活動法人 自然回帰
理事長 丹羽克己

様式例・記載例（法第28条第１項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

年度　貸借対照表
令和3 年 3月31日現在

特定非営利活動法人
（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	31,969		
未収金			
・・・・・・・・・・・・・			
流動資産合計		31,969	
2.固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
・・・・・・・・・・・・・			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
・・・・・・・・・・・・・			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
敷金			
○○特定資産			
・・・・・・・・・・・・・			
投資その他の資産計			
固定資産合計		0	
資産合計			31,969
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
未払金			
前受民間助成金			
・・・・・・・・・・・・・			
流動負債合計			
2.固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
・・・・・・・・・・・・・			
固定負債合計			
負債合計			
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		109,885	
当期正味財産増減額		△77,916	
正味財産合計			31,969
負債及び正味財産合計			31,969

（注）　重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「Ⅲ　正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

Ⅰ　資産の部
　1　流動資産
　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅱ　負債の部
　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅲ　正味財産の部
　1　指定正味財産
　指定正味財産合計　　×××
　2　一般正味財産
　一般正味財産合計　　○○○

使途等が制約された寄附金等の残高を記載

滋賀県米原市曲谷117
特定非営利活動法人 自然回帰
理事長 丹羽克己

様式（法第28条第１項「前事業年度の財産目録」）

財産目録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
手元現金	2666		
××銀行普通預金	29,303		
未収金			
××事業未収金			
……			
流動資産合計		31,969	
2.固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
パソコン1台			
応接セット			
……			
歴史的資料			
……			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
財務ソフト			
……			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
敷金			
○○特定資産			
××銀行定期預金			
……			
投資その他の資産計			
固定資産合計		0	
資産合計			
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
未払金			
事務用品購入代			
……			
預り金			
源泉所得税預り金			
……			
……		0	
流動負債合計			
2.固定負債			
長期借入金			
××銀行借入金			
……			
……			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			31,969